

銀行名	横浜銀行
タイトル	「かながわ成長企業支援投資事業組合」を活用したお取引先の成長支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お取引先は、創業1年未満の将来上場を計画している研究開発型企业。試作品の製作などを予定していたが、手元資金の流動性が乏しく、完成品の販売は数年先の計画であったことから、エクイティでの研究開発資金の調達を希望していた。</li> <li>・お取引先の成長を支援するため、当行とグループ会社である横浜キャピタルが連携して創設した「かながわ成長企業支援投資事業組合」を活用して、エクイティによる投資を実施した。</li> <li>・併せてものづくり補助金の情報提供など資金面以外でのお取引先支援をおこなった。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業間もないアーリーステージでエクイティにより資金調達することで、試作品を製作することができた。</li> <li>・研究開発資金に活用するため、ものづくり補助金の申請をおこなうことができた。</li> </ul> <p><b>【当行にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行において、創業間もない段階からエクイティで資金を供給することにより、お取引先の成長に貢献することができた。</li> </ul>

銀行名	横浜銀行
タイトル	外部専門家を活用した経営改善計画策定および診療報酬債権担保ローン（ABL）を利用した新規融資の事例について
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お取引先は病床数約 100 床を有する特定急性期病院。</li> <li>・高額医療機器導入による借入負担のほか、ガバナンスの混乱や人員配置不足に起因する売上減少により、業績が低迷、資金繰りも悪化。当行はメイン行として、返済条件の変更を実施し、資金繰り面の支援を行っていた。</li> <li>・当病院は、特定の手術において日本有数の技術を持つ病院であることから、メイン行として経営改善に繋がる支援策を検討していた。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンス混乱の要因となっていた理事長が交代したタイミングを捉え、当行より新理事長ほか経営陣に対し、経営改善に向けた取り組みの必要性を粘り強く説得した。新理事長も、急務である収支改善への取り組み・ガバナンスの整備に向けて、客観的な現状分析を必要としていたため、当行は外部専門家の導入を提案した。</li> <li>・この結果、外部専門家として医療コンサルティング会社の活用が決定、客観的な事業デューデリジェンスに基づく実態把握が行われ、改善策が示されたことにより、経営体制の再構築および経営改善計画の策定が実施された。</li> <li>・経営改善計画の策定を完了し、実抜計画として認定。その後、計画の実行がすすむと、改善実績が表れ、資金繰りも安定した。さらに、診療報酬債権担保ローン（ABL）を利用して、資金繰り不安の解消を図った。</li> </ul> <p><b>【成果(効果)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療専門のコンサルティング会社の導入により、経営改善に対する職員の理解・浸透が早まったため、実現可能性の高い経営改善計画が策定され、経営改善への取り組み効果が早期に表れた。</li> <li>・さらに、診療報酬債権担保ローンを利用するなど、一層の資金繰り安定化が図れたことにより、実抜計画どおりの返済再開に至った。また、他行に対しても当行の支援姿勢が明確となったため、資金調達の正常化が実現し、事業を継続するうえでの資金面の不安は解消した。</li> <li>・結果として、外部専門家の活用と新規融資への協力により、事業価値を毀損することなく早期の経営改善を果たすことができた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	横浜銀行
タイトル	お取引先のインドネシア進出サポート
取組み内容	<p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 部品製造業であるお取引先 A 社は、販売先の要請によりインドネシアへの進出を計画していたが、進出にあたり以下のような支援のニーズを有していた。 現地情報の収集 現法設立手続き、会計業務を依頼できる現地コンサルティング会社の紹介 資金調達と現地への送金</li></ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 上記 について、当行関連会社シンクタンクの担当者と当行担当者が同行訪問し、現地情報を提供するとともに現地コンサルティング会社数社を紹介することでサポートをおこなった。</li><li>・ また、 については、営業店・本部・現地銀行出向者が連携し、現地借入規制の説明や提携現地銀行の金融サービス内容を紹介するとともに、提携銀行における口座開設等のサポートをおこなった。</li></ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 現地口座の作成や現地コンサルティング会社の選定までスムーズに手続きを進めることができ、順調に同国への進出をはかることができた。</li></ul>

銀行名	横浜銀行																												
タイトル	経済・金融教育への取り組み																												
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>          当行では、地域社会への協力活動として、「こども」と「環境」をテーマに取り組んでいる。本取り組みは、地域の将来を担う若い世代に焦点を当て、経済の仕組みや銀行の役割などの金融知識を深める機会を提供することで、地域のさらなる活性化と発展をめざすもの。</p> <p><b>【取り組み内容】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>概要</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職場体験学習等</td> <td>各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。</td> <td>小学生～大学生</td> </tr> <tr> <td>子どもアドベンチャー</td> <td>横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。</td> <td>小学生</td> </tr> <tr> <td>全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）</td> <td>クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。</td> <td>神奈川県内の高校生</td> </tr> <tr> <td>寄附講座</td> <td>地元大学との産学連携の取り組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。</td> <td>大学生</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。</td> <td>大学生</td> </tr> <tr> <td>神奈川産学チャレンジプログラム</td> <td>神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。</td> <td>大学生</td> </tr> <tr> <td>神奈川県版あしたね</td> <td>職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。</td> <td>小学生～高校生</td> </tr> <tr> <td>おこづかいちょう</td> <td>金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。</td> <td>18歳未満</td> </tr> </tbody> </table>		項目	概要	対象	職場体験学習等	各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。	小学生～大学生	子どもアドベンチャー	横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。	小学生	全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）	クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。	神奈川県内の高校生	寄附講座	地元大学との産学連携の取り組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。	大学生	インターンシップ	学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。	大学生	神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。	大学生	神奈川県版あしたね	職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。	小学生～高校生	おこづかいちょう	金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。	18歳未満
	項目	概要	対象																										
	職場体験学習等	各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。	小学生～大学生																										
	子どもアドベンチャー	横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。	小学生																										
	全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）	クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。	神奈川県内の高校生																										
	寄附講座	地元大学との産学連携の取り組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。	大学生																										
	インターンシップ	学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。	大学生																										
	神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。	大学生																										
	神奈川県版あしたね	職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。	小学生～高校生																										
	おこづかいちょう	金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。	18歳未満																										
<p><b>【取り組み効果】</b>          参加者等は以下のとおりであり、地域において定着してきている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25年度参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職場体験学習等</td> <td>32校 308人</td> </tr> <tr> <td>子どもアドベンチャー</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>エコノミクス甲子園神奈川大会</td> <td>8校 34人</td> </tr> <tr> <td>寄附講座</td> <td>2大学</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table>		項目	H25年度参加人数等	職場体験学習等	32校 308人	子どもアドベンチャー	40人	エコノミクス甲子園神奈川大会	8校 34人	寄附講座	2大学	インターンシップ	32人																
項目	H25年度参加人数等																												
職場体験学習等	32校 308人																												
子どもアドベンチャー	40人																												
エコノミクス甲子園神奈川大会	8校 34人																												
寄附講座	2大学																												
インターンシップ	32人																												

銀行名	横浜銀行																					
タイトル	スポーツや文化・芸術分野におけるこどもの育成支援																					
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>          当行では、地域社会への協力活動として、「こども」と「環境」をテーマに取り組んでいる。本取り組みは、スポーツや文化・芸術分野におけるこどもの育成支援を通じて、地域のさらなる活性化と発展をめざすもの。</p> <p><b>【取り組み内容】</b></p> <table border="1" data-bbox="454 638 1460 1579"> <thead> <tr> <th data-bbox="454 638 742 683">項目</th> <th data-bbox="748 638 1236 683">概要</th> <th data-bbox="1243 638 1460 683">対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="454 692 742 828">横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会</td> <td data-bbox="748 692 1236 828">毎年夏に、神奈川県内の各地区大会の優勝・準優勝チームなど42チームが参加する軟式野球大会に冠スポンサーとして応援。平成20年より継続。</td> <td data-bbox="1243 692 1460 828">小学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 837 742 940">はまぎんサッカー教室</td> <td data-bbox="748 837 1236 940">プロの選手らを講師に迎えて、実践的な指導を受けられるサッカー教室。平成19年より継続。</td> <td data-bbox="1243 837 1460 940">幼稚園～小学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 949 742 1131">はまぎん こども宇宙科学館</td> <td data-bbox="748 949 1236 1131">平成20年よりネーミングライツを取得しているほか、宇宙や科学をテーマに、著名人による講演会や工作教室などの冠イベントを年2回開催。平成25年度は開館30周年を記念して、「スペース・シミュレータ」を寄贈。</td> <td data-bbox="1243 949 1460 1131">小学生～中学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1140 742 1276">横浜みなとみらいホールとの協働事業</td> <td data-bbox="748 1140 1236 1276">年間を通して、こども向け体験型音楽プログラム「横浜銀行 Presents こども未来ミュージック・プログラム」を実施。平成20年度より継続。</td> <td data-bbox="1243 1140 1460 1276">未就学児～高校生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1285 742 1422">神奈川フィルハーモニー管弦楽団との連携事業</td> <td data-bbox="748 1285 1236 1422">神奈川県唯一のプロオーケストラである神奈川フィルと連携して、未就学児を対象としたオーケストラコンサートや、小学校への出張講演会を開催。</td> <td data-bbox="1243 1285 1460 1422">未就学児～小学生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1431 742 1579">学習用副読本</td> <td data-bbox="748 1431 1236 1579">横浜市立の小中学校で使用する横浜の歴史を学ぶ副読本（合計約6万部）および川崎市立中学校で使用する川崎の科学や技術を学ぶ副読本（約9千部）の発行に協力。</td> <td data-bbox="1243 1431 1460 1579">小学生～中学生</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【取り組み効果】</b>          それぞれ継続して取り組んでいる結果、はまぎん こども宇宙科学館におけるイベントでは1回につき1,000人近くの応募があるなど、地域において定着している。</p>	項目	概要	対象	横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会	毎年夏に、神奈川県内の各地区大会の優勝・準優勝チームなど42チームが参加する軟式野球大会に冠スポンサーとして応援。平成20年より継続。	小学生	はまぎんサッカー教室	プロの選手らを講師に迎えて、実践的な指導を受けられるサッカー教室。平成19年より継続。	幼稚園～小学生	はまぎん こども宇宙科学館	平成20年よりネーミングライツを取得しているほか、宇宙や科学をテーマに、著名人による講演会や工作教室などの冠イベントを年2回開催。平成25年度は開館30周年を記念して、「スペース・シミュレータ」を寄贈。	小学生～中学生	横浜みなとみらいホールとの協働事業	年間を通して、こども向け体験型音楽プログラム「横浜銀行 Presents こども未来ミュージック・プログラム」を実施。平成20年度より継続。	未就学児～高校生	神奈川フィルハーモニー管弦楽団との連携事業	神奈川県唯一のプロオーケストラである神奈川フィルと連携して、未就学児を対象としたオーケストラコンサートや、小学校への出張講演会を開催。	未就学児～小学生	学習用副読本	横浜市立の小中学校で使用する横浜の歴史を学ぶ副読本（合計約6万部）および川崎市立中学校で使用する川崎の科学や技術を学ぶ副読本（約9千部）の発行に協力。	小学生～中学生
項目	概要	対象																				
横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会	毎年夏に、神奈川県内の各地区大会の優勝・準優勝チームなど42チームが参加する軟式野球大会に冠スポンサーとして応援。平成20年より継続。	小学生																				
はまぎんサッカー教室	プロの選手らを講師に迎えて、実践的な指導を受けられるサッカー教室。平成19年より継続。	幼稚園～小学生																				
はまぎん こども宇宙科学館	平成20年よりネーミングライツを取得しているほか、宇宙や科学をテーマに、著名人による講演会や工作教室などの冠イベントを年2回開催。平成25年度は開館30周年を記念して、「スペース・シミュレータ」を寄贈。	小学生～中学生																				
横浜みなとみらいホールとの協働事業	年間を通して、こども向け体験型音楽プログラム「横浜銀行 Presents こども未来ミュージック・プログラム」を実施。平成20年度より継続。	未就学児～高校生																				
神奈川フィルハーモニー管弦楽団との連携事業	神奈川県唯一のプロオーケストラである神奈川フィルと連携して、未就学児を対象としたオーケストラコンサートや、小学校への出張講演会を開催。	未就学児～小学生																				
学習用副読本	横浜市立の小中学校で使用する横浜の歴史を学ぶ副読本（合計約6万部）および川崎市立中学校で使用する川崎の科学や技術を学ぶ副読本（約9千部）の発行に協力。	小学生～中学生																				

銀行名	横浜銀行																												
タイトル	環境保全活動																												
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>          当行では、地域社会への協力活動として、「こども」と「環境」をテーマに取り組んでいる。本件は、次世代を担う子ども達に美しい自然を引き継ぐため、地域の環境保全に取り組むもの。</p> <p><b>【取組み内容】</b>  <b>商品・サービスの提供による環境保全活動</b>  <b>（１）&lt;はまぎん&gt;ソーラーローン</b>          太陽光発電による安全・安心な低炭素社会の実現などをめざし、住宅へのソーラーパネルの普及を支援。  <b>（２）&lt;はまぎん&gt;環境格付融資制度</b>          温暖化対策にかかる設備の導入に際し、環境経営の取組み状況に応じて、金利の差し引きが受けられるほか、環境省の利子補給事業を利用する場合は、国からの利子補給金を受け取ることができる融資制度。  <b>（３）&lt;はまぎん&gt;マイダイレクトにおける電子交付サービス</b>          紙資源の削減のため、インターネットバンキングにおいて、封書やはがきで郵送している投資信託関連の報告書類などを平成２３年度より電子ファイルで交付。</p> <p><b>環境に配慮した業務態勢の構築・見直し</b>  <b>（１）チャレンジ２５キャンペーンへの参加</b>          地球温暖化防止の国民運動に参加。節電や節水、クールビズ、ウォームビズなどを実践。照明器具では高効率反射板の導入やLED照明への更新、空調機については節電効果の高い新型空調機への更新を実施。また、電力使用状況をモニタリングするオンデマンド監視装置を導入し、ピーク電力の抑制のため随時電力使用量を確認。  <b>（２）電気自動車の活用</b>          神奈川県電気自動車普及活動に賛同し、平成２３年度より本店の営業用車両として電気自動車を活用。二酸化炭素の排出削減に努めるとともに、本店内に設置した充電設備をお客さまに無料開放することで、県内における充電ネットワークの構築に協力。</p> <p><b>都市緑化・美化活動</b>  <b>（１）自治体等と連携した都市緑化活動</b>          横浜市等と協力し、環境浄化植物などを定期的に植栽。  <b>（２）行員による美化活動</b>          営業店などが主体となって地域の海岸や河川の清掃活動などへ参加し、行員がボランティアとして活動。</p> <p><b>【取組み効果】</b>          環境格付融資制度については、平成２５年に第１号案件を実行。省エネルギー・節電などの効果は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="443 1899 1458 2085"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力使用量</td> <td>千kwh</td> <td>24,755</td> <td>24,755</td> <td>20,802</td> <td>20,444</td> </tr> <tr> <td>ガソリン使用量</td> <td>kl</td> <td>67.4</td> <td>66.5</td> <td>58.7</td> <td>63.6</td> </tr> <tr> <td>紙使用量</td> <td>t</td> <td>430.1</td> <td>152.8</td> <td>150.7</td> <td>136.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>当行グループ主要ビルにおける数値。なお、ガソリン使用量はレギュラー・ハイオクの使用量。</p>					項目	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	電力使用量	千kwh	24,755	24,755	20,802	20,444	ガソリン使用量	kl	67.4	66.5	58.7	63.6	紙使用量	t	430.1	152.8	150.7	136.0
項目	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度																								
電力使用量	千kwh	24,755	24,755	20,802	20,444																								
ガソリン使用量	kl	67.4	66.5	58.7	63.6																								
紙使用量	t	430.1	152.8	150.7	136.0																								